

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ビジョン

データを活用して企業にイノベーション、社会に未来をもたらす。情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。

リカーリング比率
75%

クラウド比率
40%

EBITDA
120億円

クラウド成長率
40%

2 中長期の経営戦略

1. データプラットフォーム実現

企業のDXを推進するデータプラットフォームをベースに、企業間DXと企業内DXに取り組む。

3. リカーリングビジネス推進

継続的な顧客サービス提供で業績安定化を図り、契約継続率維持向上と追加商材提案で売上向上を目指す。

2. クラウドビジネス拡大

開発体制強化とアライアンス推進により、クラウドサービスの継続的な新機能開発と性能向上を実現。

4. 公共・自治体領域展開

2025年度の自治体情報システム標準化に対応し、新たな自治体向けソリューション提供で業務低減を実現。

3 対処すべき課題

① クラウドビジネスの拡大

- ・ 2027年2月期クラウド売上比率40%達成に向けサービス強化を加速
- ・ 優秀なエンジニア獲得難化への対応で最先端技術と働き方改革で環境構築
- ・ 様々な企業とのアライアンスで包括的サービスをスピーディに提供

② リカーリングビジネス拡大

- ・ 専門部署による顧客管理と離脱防止対策で契約継続率を維持向上
- ・ 2027年2月期リカーリング比率75%達成に向けて比率向上に注力
- ・ 既存顧客への追加商材提案で売上向上を目指す

③ 公共領域での競争強化

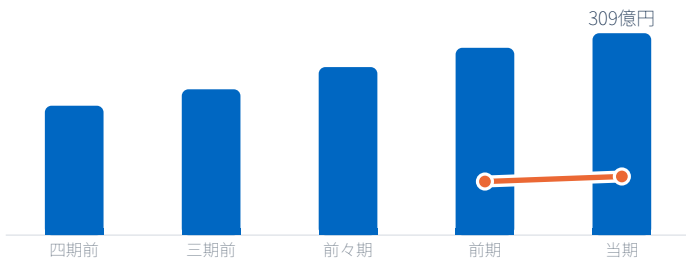
- ・ 自治体情報システム標準化への対応で新規市場開拓
- ・ 自治体職員業務効率化と住民サービス向上の実現

面接で使えるポイント

- ・ ビッグデータを新しい資源と捉え、超高速集計やリアルタイム処理等の独自技術を活かしてDX支援を実現
- ・ 2027年2月期にクラウド売上比率40%、リカーリング比率75%、EBITDA120億円を目指す成長戦略
- ・ 2025年度の自治体情報システム標準化対応により公共領域での新規事業展開を推進

証券コード 4432

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
309億円

営業利益率
29.1%

財務健康度
80点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 59.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
761万円

情報・通信業内 134位/592社

平均年齢
41.0歳

情報・通信業内 154位/593社

平均勤続
6.2年

情報・通信業内 311位/593社

女性管理職
16.4%

情報・通信業内 150位/373社

男性育休
100.0%

情報・通信業内 76位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
データを「新しい資源」として捉え、ソフトウェア
およびサービスを提供する情報通信サ

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率29.1%と高い収益性
- ・ 財務健康度80点と財務基盤が健全
- ・ 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 九州工業大学、ギラヴァンツ北九州、ウイングアーク 1 s t がデー

